

各位

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社

「100年マンション研究会」 “軍艦島”研修会を開催

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長 長田 邦裕）は、2016年3月23日（水）～24日（木）、マンション長寿命化の取組みである「100年マンション研究会」の研究活動として、軍艦島（長崎県端島）での研修を実施しましたのでお知らせいたします。

軍艦島は、炭鉱の島として栄え、島内で多くの人が暮らせるように1916年に日本で初めて鉄筋コンクリート造の高層集合住宅が建設されました。現地では、今年100年を迎えるこの建物が、1974年閉山以降の42年間、何の修繕もされず台風や波、潮風にさらされ、どのような劣化状況なのかを観察いたしました。

また、今年度からスタートした100年マンション研究会の取組みについて、管理担当部門、工事担当部門、各支店担当でグループワークを実施し、これまでの活動の振り返り、今後の取組みについて活発に意見交換会をいたしました。

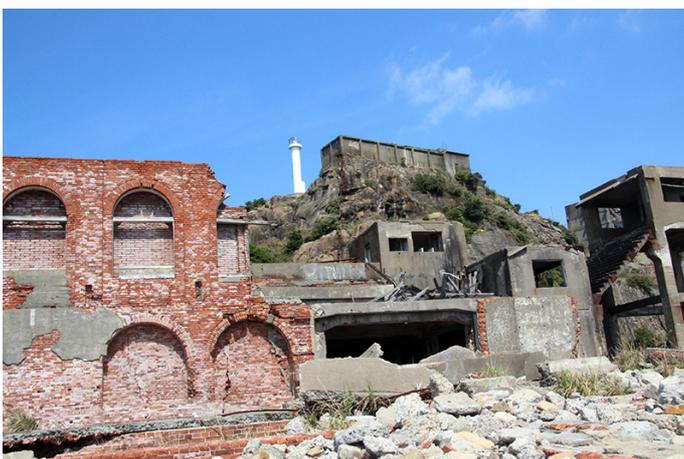
今後も「100年マンション研究会」の取組みを通じて、当社管理マンションにお住まいのみなさまが、100年先を見据えた資産継承が実現できるよう取り組んでまいります。



軍艦島外観



日本最古の鉄筋コンクリート造建物の前にて
研修参加メンバー集合



鉱山の中核だったレンガ造りの総合事務所



炭を運んでいたベルトコンベア（左下）と小中学校（正面奥）

<軍艦島（端島）概要>

1810年に石炭が発見され、1890年に三菱の経営となる。人口増加とともに、1916年に日本初の鉄筋コンクリート造の高層住宅が建設され、学校や病院、映画館まで建てられ賑わった。島の外観が軍艦に似ていることから「軍艦島」と呼ばれるようになる。1974年に閉山になり、2015年世界文化遺産に登録された。

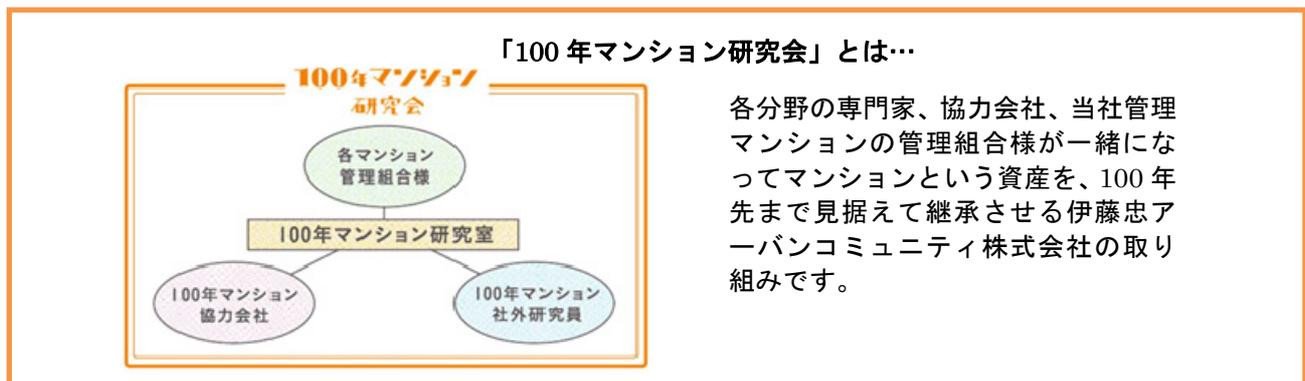
<100年マンション研究会活動>

■2015年度セミナー開催実績

開催日	エリア	参加人数
7月11日	東日本	40名
9月26日	東日本	177名
10月1日	東日本	100名
10月3日	西日本	94名
12月12日	名古屋	34名
2月13日	東日本	40名

■セミナーご参加者様アンケートより抜粋

- ・「計画的に進めることで資産価値の維持向上が図れる点が参考になりました」
- ・「躯体寿命の考え方が分かったので、その他の寿命について知りたい」
- ・「どう長期化していくか再生プランを考えたいと思った」



100年マンション取り組みのご案内パンフレット【ダイジェスト版】をご覧くださいませ。

<http://www.itc-uc.co.jp/files/348.pdf>

以上

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 経営企画部 担当：平澤・斉藤

TEL 03-3662-5120